

はらだ
原田てつよ議員

「ヘルプマーク・ヘルプカード」と
「あいサポート運動」をセットで普及を

議員 ヘルプマーク・ヘルプカードは難病や義足等、外見からはわからなくとも援助や配慮を必要とする方が身に付け、配慮を受けやすくするためのマークで、本市においても昨年8月から地域福祉課で交付を始めている。また、あいサポート運動は障害の特性を知り、障害のある人ともともに助け合い、暮らしやすい地域社会の実現を目指すものである。二つの運動をセットで取り組み、普及啓発すべきではないか。①ヘルプマーク・ヘルプカードの正しい理解と啓発のための取り組みと配布状況は。②あいサポート運動の取組み普及についての考えは。

健康福祉部長 ①ヘルプマーク・ヘルプカードを配布開始する際に、広報かさおか及びホームページで

紹介し、ポスターの掲示や当事者・関係者の会合等で紹介している。現在のところ111人に配布している。

市長 ②ご提案のとおり合わせて取組み、啓発普及していく。



障害者集いの場 「ばあー」のあり方を問う

議員 就労継続支援A型・B型で働く人達が仕事後に安心して過ごし、創作活動に取り組み、ボランティアや市民との交流の中で自立を目指し、また保護者の就労支援を図る場として「ばあー」を市直営で開設した。今後のあり方と支援についての考えをたずねる。

市長 今後、安定した事業を継続しながら、利用者の自立を目指すために、支援体制の強化に向けて様々な運営手法を検討する必要があると考えている。



7月豪雨災害。県道、市道の復旧工事、 早急に着手を！

さいとうかずのぶ
齋藤一信議員

議員 7月豪雨災害によるのり面崩壊に伴う、県道等の交通規制の一日も早い解除を願う市民の声が多く届いている。現状と今後の復旧の見通しは。

市長 現在、岡山県が神島外港線の横島地区で片側交互通行の終日規制を行っている。県によれば、平成31年1月下旬に国の災害査定を受け、その後工事発注を行い、平成31年内に工事完成の見込みである。笠岡市としても、早急に復旧を行うよう県に対し要望を行っていく。また、交通量の多い市道笠岡中央線の笠岡・追分地区の交通規制については、福山方面から笠岡方面への片側一方通行の終日規制を行っている。災害復旧工事については現在樹木の伐採を行っており、12月中旬から本格的な工

事に着手する。3月末には工事が完成するよう努力する。そのほか、大井南地区などの市道のり面崩壊、園井地区などの林地崩壊、今立地区の林道のり面崩壊など、各地区的道路や山林の被災箇所についても早期の復旧ができるよう努める。

道路利用者の方々には大変御迷惑と御不便をおかけするが、御理解と御協力ををお願いしたい。

議員 県にしつかりと要望をしていただきたい。あわせて、今後の行程等も隨時変わらようなら情報提供をいただきたい。

